

のり養殖通報 第14報

千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所
千葉県農林水産技術会議 令和2年2月21日発行

[気象・海況]

- 水温 13℃後半（新富津）。平年と比較して1～2℃高い状況です（図1）。2月17日に沖合水の強い波及があり、一時的に16℃前後まで上昇しました。
- 栄養塩 充分量あります（表1）。2/19時点、大貫沖は、沖合水の影響で窒素がやや低下しました。ただし、翌日 2/20に調査した内房海域では充分量の栄養が確認されたため、一時的であった模様です。
- 沖合水 2/17に強い波及がありました。引き続き、動向に注意が必要です。
- 気象 一ヶ月予報（2/20時点）では、今後も気温は高く、降水量は多いと予報されています。

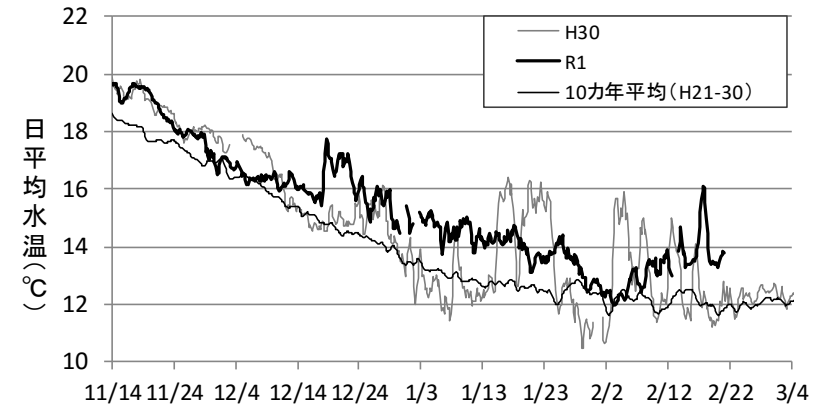


図1 新富津漁場（観測ブイ）の表層水温の推移

[今後の留意点]

- ・ノリの伸長状況は、2月上旬の冷え込み、2/9の強い北風以降、全域で好転した模様です。
- ・栄養塩は、引き続きノリの生育や色調に充分量が含まれています。
- ・短縮化の主な原因と考えられるクロダイやカモは、いまだ漁場で多く確認されていますが、食圧はやや低下してきた模様です。
- ・生産量アップを図れる条件がようやく整ってきた感があります。
- ・今後は、あかぐされ病の蔓延に十分な注意が必要です。
- ・また、現在、C等級（ケイ藻混入）が非常に増加しています。タビュラリア以外のケイ藻やヌタは、活性処理で落ちると思われるので、定期的な洗浄を行うようにしてください。
- ・短縮化の原因解明のため、ノリ芽の弾力強度調査を2/25～2/27に行います。各漁協研究会長にはノリ芽及び履歴情報の提供をお願いします。

表1 栄養塩（2/19 観測結果） $\mu\text{g/L}$

	窒素	リン
船橋	542	24
木更津（BC）	392	21
富津ベタ	376	22
2海ほ下	245	17
大貫沖	72	10